



ヒューマニティーズセンター  
Humanities Center

第67回HMCオープンセミナー  
The University of Tokyo Humanities Center

# Japan and the Netherlands

## 日本とオランダ

• レナルト・ベス Lennart Bes

ライデン大学 Leiden University

Working together on the history of cross-cultural diplomacy

• ジンナ・スミット Jinna Smit

オランダ大使館 Embassy of the Kingdom of the Netherlands

Working together on heritage

• Chaired by

大東敬典 Norifumi Daito

東京大学史料編纂所 University of Tokyo, Historiographical Institute

May 26, Thursday

17:30 - 19:30

Online (via Zoom)

Language: English



QR Cord  
For Registration  
& English Abstracts





# Japan and the Netherlands

## 日本とオランダ

HMC主催セミナー「日本とオランダ」をご案内いたします。オランダからレナルト・ベス、ジンナ・スミットご夫妻をお招きして、日本とオランダの交流の歴史について、それぞれ「異文化間外交」「遺産」をテーマにご講演いただきます。

長崎出島のオランダ東インド会社商館長一行が江戸に赴き、将軍に拝謁し貿易許可の礼を述べ、献上品を呈する、いわゆる江戸参府は、近世日本の対外関係を規定する主要行事の一つとして精緻な研究が積み重ねられてきました。その一方で、アジアの他の地域においても会社使節による政治的支配者の「宮廷」への旅が行われたことについては、十分に検討されてきませんでした。そうした「宮廷旅行」の記録から「江戸参府」を見直すと、どのような理解が得られるでしょうか。オランダ東インド会社史がご専門のベス先生は、現在史料編纂所を拠点に、インド・マラバール地方の事例を研究されています。同地の宮廷における異文化間外交についてお話しくさいます。

近世・近代における日本とオランダの交流は、その痕跡を文書・モノ・建築・景観など様々な形でとどめています。それらは両国の歴史を知る上で極めて重要な史料であり、その調査や保全に多大な努力がなされてきましたが、近年では、そうした文化遺産が必ずしも過去に属するものではなく、新たな交流や社会的価値を生み出す契機にもなり得ることが注目されています。スミット先生は、現在駐日オランダ王国大使館において、「文化遺産」を媒介とした両国の協働の実現に取り組んでおられます。課題や展望についてお話しいただきます。

※セミナーは英語で開催されます。

事前登録及び英語概要はQRコードから 

